

■第三十一回ひろらくB&Wシヨウ

初の試み「日曜日」開催

会員家族が集い「焼き肉会」で交流

●経産牛グラントチャンピオンに

檜高侑祐さん所有牛

●未經産牛グラントチャンピオンに

藤本雄紀さん所有牛が輝く



(藤井会長から表彰旗を受ける檜高さん)



(審査風景、中央奥は細野審査員)

同志会(会長 藤井康浩)は、去る三月二十五日(日)、審査員に細野淳氏(アルタジャパン株式会社代表取締役)を迎えて第三十一回目のシヨウを開催した。昨年は、韓国で口蹄疫が蔓延する影響で開催を断念。

来賓で挨拶した広略の山本武組合長は、「広島県の乳用牛改良目標に沿って会員及び酪農家の改良意欲の高揚併せて本県の酪農振興に寄与されたい」と述べ激励。

以後、審査に入り、出品者は粉雪舞う大変寒い中で真剣な眼で出品牛をリードした。

審査は未經産牛の部、経産牛の部の計六部に区分し行い、経産牛グラントチャンピオンに檜高侑祐さん、未經産

牛グラントチャンピオンに藤本雄紀さんの所有牛がそれぞれ輝いた。

未經産牛の部「第一部」の出品牛をリードした藤井会長の娘さん(小学三年生)は、真剣な面持ちの中、堂々と愛牛をリードし、会場内から大きな拍手が贈られた。細野審査員は、審査講評で「大変リードもうまく頑張っていた。感心させられた。もう一度、この子に暖かい拍手を」と求め、場内は再度暖かい拍手に包まれた。寒空の下で会員は暖かい気持ちになり微笑ましい一瞬を味わった。

細野審査員は、ジャッジの合間に出品者の側に寄り、改良ポイント、惜しかった点などの確かなアドバイスをされていた。出品者は「今後に向けて大きな励みになった」と大変喜んでいった。

未經産牛の部総てが終了し、焼き肉を囲んで親睦交流会を行い、会員は一般来場者に家族を紹介するなど、笑顔、



(藤井会長の娘さんと記念撮影する山本武組合長)

笑顔のなかで交流を深められていた。

今回のシヨウは、中国地区B&Wシヨウの予選を兼ねて行われ、勝ち抜いた牛十五頭は、四月七日(土)〜八日(日)鳥取県

で開催の同シヨウに駒を進める。

会員は、昨今、共進会熱が冷める傾向から出品牛頭数が年々減少している。再度、シヨウの持つ価値・意義を会員以外の仲間達にも啓発し、シヨウへの参加が高まり、かつ酪農経営がより充実するよう取り組みたいと決意新たの様子であった。

わいわいがやがや



(焼き肉を囲んでの交流会の様子)